



# 県議選必勝、強く大きな党を作ろう

## 2023年日本共産党新春のつどい



「日本共産党 新春のつどい」が21日、鶴岡市勤労者会館で開かれました。五十嵐貞子地区委員長が、「4月の県議選で、関とおる県議の必勝と、強く大きな党を作り、物価高騰やコロナ禍の間の実績と4月の県議選に向けて決意を表明。コロナでひっ迫する医療機関への支援を求めて実現したことなどを紹介し、3期目を目指して奮闘すると力強く述べました。



悪天候のため、急きょリモートで参加した紙智子参議院議員は、岸田政権が進める敵基地攻撃能力保有や大軍拡を厳しく批判。23日

からの通常国会で統一協会などの問題と合わせて徹底追及すると話しました。また、「1980年代は軍事費より農業予算が多かったが、いま農業予算は大きく削られ、特に畜産農家が危

機に瀕している。軍事費2倍でなく、戦争をさせない外交こそいまもとめられている」と訴え、「党創立101年目、戦争する国づくり許さない！あなたも日本共産党へ入党を」と呼びかけました。つどいに参加した男性が、入党を決意しました。

# 少子化・人口減少について意見続出

## 市総合計画審市民教育専門委

鶴岡市総合計画審議会の市民教育専門委員会が18日、開かれました。総合計画の中間見直しの進め方については、基本構想、基本計画、実施計画の3部構成のうち、来年3月を目途とし、令和5年度中に基本計画を見直すとのこと。委員からは、少子化、人口減少について発言がありました。

「鶴岡は何にもないから都会へと祖父母が言うが、素晴らしいところが沢山ある」、「7年前にUターンしたが、鶴岡の食が戻るきっかけになった。給食の質の高さを実感した」、「学生の就職活動に苦戦した。

女子の入学が増えたが、20数年前のエンジニアは男社会で、女性用の更衣室やトイレも工場にはないと言われた。女子学生も徐々に就職しやすくなったのは10年前くらいだ。女性が活躍できる社会は魅力的な町だ」と言った意見が出されました。

ごみのリサイクル率については、「海岸の漂着ごみ調査研究しているが、庄内海岸のごみは8割が国内、外国は1割程度だ。最上川、赤川河口はひどい。外に置いておいたゴミが飛ばされて、川で下るのだ。」

(2面につづく)

# 来年度予算について知事に要望



▽20日(金)党県議団と県委員会、吉村知事に来年度予算についての要望をおこないました。各分野の要望をまとめた全58項目の内5つを重点項目として、知事に当日の回答を求めました。

知事からは、①(政府の大軍拡について)紛争の外交解決が重要。安保3文書は大転換とも考えられるので、国会での十分な審議と国

民への説明が必要、②学校給食など教育の無償化はできる限りの進めたいが、財源が課題、③「原発に頼らない社会」を引き続き政府に提言していく、など回答がありました。県民要望実現と岸田政権の政策の矛盾が激化していることが感じられました。

▽21日(土)新春のつどいで挨拶。土砂災害対策、コロナ対策、大軍拡反対等についての県政・国政の状況と課題、そして必勝の決意を述べました。終了後、たくさんの激励のお言葉をかけて頂き、感謝感激しました。(県議 関 徹)

# 鶴岡市議会が国保費で統一を目指し

国保税統一に係る説明会 「県内統一は時期尚早」など意見多数

国保税水準統一に係る説明会が16日、県健康福祉部から2人の担当者が見学し、市国保運営協議会公益代表（市議会議員）に対して行われました。

保険税水準統一が義務化に

説明では、

保険税（料）水準の統一に向け、都道府県国民健康保険運営方針の必須記載事項として、「保険料水準の平準化に関する事項」が追加され、令和6年4月1日施行により、保険税（料）水準の統一が実質的に法律上義務付けされることとなった。

これまで2次医療圏単位での統一に向けた検討を行ってきたが、山形県は医療費水準の格差は、全国平均と比べ少ない。理念とする税負担の平準化は、2次医療圏単位では、その効果が一定程度弱まる。2次医療圏から県全体に、段階的に統一を進めれば、期間が長く

なり、負担増が大きい市町村の財政運営リスクが上がることから、全県単位での統一を目指すこととした、とのこと。鶴岡は医療費指数低い

医療費指数は、年齢調整後の医療費の水準を、全国を1として指数化し、県平均は0.977です。

1以上の高い市町村は、大蔵村1.120、山辺町1.035、川西町1.034、南陽市1.031、米沢市1.023、上山市1.018、山形市1.014、高島町1.012、西川町1.011、村山市1.007、と10市町村が1以上となっており、鶴岡市は0.920と低くなっています。

令和7年度から「納付金ベースの統一」に向けて、令和7年度から11年にかけて、激減緩和

「納付金ベースの統一」とは、市町村で異なる医療費水準は反映せず（市町村の相互扶助の実現）、保健事業や収納率、剰余金や基金残高を踏まえて、市町村独自に税率を決定します。

「税率の完全統一」とは、同一世帯・同一所得の水準であれば、居住市町村にかかわらず、税率が同じになることです。県内統一は時期尚早

鶴岡市は当初の段階では「合意出来ない」としていましたが、国保運営協議会に諮問もせず、庁内協議において「合意する」と回答していました。

坂本昌栄議員は、「まだ13都道府県しか実施されておらず、医療費適正化のインセンティブ（動機付け）の条件

（1面のつづき）市のコミン排出量多い。分別がもっとできればいい。

リサイクルや資源回収は子どものうちに経験することだが、子ども会が少なくなり、自治会と一体に進めている状況だ」と言った発言も出されました。教育関係者からは、

「新型コロナの影響が学校現場でも表れ、子ども達のコミュニケーション不足、イライラ、集中が続かない、異年齢交流がない。一方で、ゲームや動画視聴の時間が増えている」と言った発言も出されました。長谷川剛議員が傍聴参加しました。

も確定されないまま、県が強行に統一を進めることは時期早々ではないか」と述べました。他の議員からも、「県として、医療費水準の高い市町村の実態や、課題等の調査はしているのか」、

「インセンティブへの対応は」、「医療の地域格差があり、医師確保に向けた取り組みを強化するべき」など、多くの意見が出ました。

鶴岡市の国保負担増が懸念

鶴岡市は医療費指数が低く、納付金ベースの統一でも、剰余金や基金を使い、市民への負担を増大させることが無いとしています。今後の問題として、複数の市町村からの要望により、「税率の完全統一」の可否も含めた検討開始時期を前倒しして行うことを、協議事項に盛り込むとされています。鶴岡市の国保税の負担が今後増え、市民に与える影響が大きいと懸念されます。

## 富樫市議、公明党広報誌で共産党市議団を攻撃

鶴岡市議会公明党の広報誌の中で、富樫正毅議員が、『政務活動費（公金）の適切な活用へ』と題する文章を掲載し、内容は主として共産党市議団に対する攻撃文書であること

から、市議団は24日、反論の文書を本人宛に届けました。

反論では、「議長は市議会を代表し、各会派の意見を尊重して、公平公正に議会を運営していく責務がありま

すが、議長を補佐する副議長が、会派を一方的に批判する文書を市内に配布する「常軌を逸した」行為と断言しています。」と述べています。

「広報費は適正に使用され不正はなく、政倫審を他党攻撃の場として利用している」と指摘しました。

### 都市計画課入札結果（ ）内は予定価格

1月19日入札分  
・旧医師公舎跡地造成工事（家中新町地内）（入札5業者うち1業者辞退）ユーワ(株) 7,660,000円（7,910,000円）工期～3/31（落札率96.84%）

### 建築課入札結果（ ）内は予定価格

1月12日入札分  
・第四学区コミュニティセンターエアコン設置工事（稲生一丁目10-80）（入札6業者）羽黒設備(株) 1,090,000円（1,330,000円、最低制限価格930,720円）工期～3/30（落札率81.95%）

### 下水道課入札結果（ ）内は予定価格

1月16日入札分  
・市集落排水事業 羽黒中央地区管路施設白山橋添架管ほか改良工事（羽黒町荒川ほか地内）（入札3業者）(株)丸元建設 17,000,000円（17,180,000円）工期～3/31（落札率98.95%）  
12月27日入札分  
・市公共下水道事業 汚水4044-1号新設工事（加茂地内）（入札1業者）(株)山本組 3,900,000円（4,110,000円）工期～3/31（落札率94.89%）